

湯沢砂防だより

令和6年6月26日

国土交通省 湯沢砂防事務所

NEXCO東日本湯沢管理事務所と現場見学で交流！

～「高速道路リニューアル中の橋梁」と「補強対策した砂防堰堤」を合同見学～

NEXCO東日本湯沢管理事務所と湯沢砂防事務所では過年度より現場見学を合同で実施するなど交流を深めており、今年度は6月20日、NEXCO東日本が整備した関越自動車道の水上ICから湯沢IC間に位置する「阿能川橋」(群馬県みなかみ町),及び湯沢砂防事務所が魚野川右支川大源太川に整備した「大源太川第1号砂防堰堤」(新潟県湯沢町)の2箇所において合同見学会を行い、両事務所計15名が参加しました。今後も機会を捉えて交流を継続していきたいと思ひます。

阿能川橋



阿能川橋
(パノレットより)



床版下面劣化 (パノレットより)

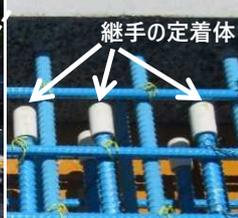
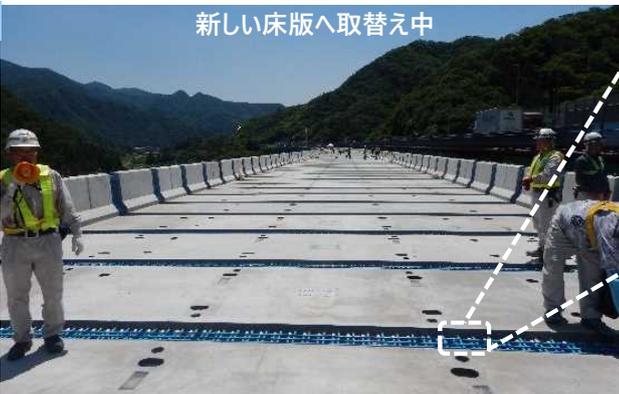
供用開始から約35年経過、大型車交通増加、凍結防止剤による塩害等により鉄筋コンクリート床版の劣化が進行しているとのこと

「床版の部分補修を繰り返し実施してきたが劣化が進行している。抜本的補修（工場で製作された耐久性の高い床版への取替え）を行うことで、高速道路ネットワーク機能を長期にわたり健全に保持するため」

高速施工で工期短縮

新しい床版へ取替え中

- 【標準的工法】
- ①床版撤去
 - ②主桁防錆剤塗布
 - ③主桁高さ調整
 - ④新設床版架設
- 順に繰り返す
- ↓
- 【阿能川橋】
- ①から④を各エリア
- で同時並行で行う



継手の定着体
床版同士の接合部。セラミック製キャップを用いた継手定着体（防錆処理不要とのこと）

「AR(拡張現実)技術」で工法をイメージ



橋梁模型
タブレット
橋梁模型にタブレットをかざすと・・・3次元イメージ動画で工法を閲覧！

◎工期は約3分の1に短縮とのこと（工事費も約2割減少とのこと）

大源太川第1号砂防堰堤

戦前となる昭和14年に魚沼地域を土砂災害から守る代表的堰堤として整備しましたが70年以上経て老朽化が著しくなったことから、平成27年3月から約8年間にわたって補強対策を実施しました。見学会では、この対策の振り返りの他、地域と連携しながら堰堤及び周辺部の利活用促進に向けた現在の取り組みについても紹介しました。

湯沢砂防事務所が「補強対策」説明 (登録有形文化財記念碑前)



「外観・構造など歴史的価値や観光拠点としての機能維持に工夫した」



堰堤正面 (仮排水トンネルから)



参加者 (堰堤上流)